川本中だより

第30号
令和元年8月30日(金)

いいことたくさん 川本中!!
～ 夢・花・元気 いっぱいの学校 ～

9月

「みんなちがって，みんないい　～金子みすゞのまなざし～」 教育講演会より

８月20日，深谷市民文化会館大ホールにて教育講演会が行われました。講師に金子みすゞ記念館館長の矢崎節夫先生をお招きし，「みんなちがってみんないい～金子みすゞのまなざし～」という演題でお話をいただきました。

26歳という若さで，この世を去った童謡詩人「金子みすゞ」。その死後，半世紀を経てこの世に送り出したのが，矢崎節夫先生です。先生は，詩「大漁」，「こだまでしょうか」，「土」，「つもった雪」，「私と小鳥と鈴と」に触れながら，彼女の「まなざし」について，「ものの見方，とらえ方」についてお話ししてくださいました。金子みすゞのまなざしは，実に優しいまなざしだと気付かされました。

先生は，「金子みすゞさんのまなざしは，『私とあなた』ではなく，『あなたと私』です。私たちが存在するのは，生まれたときからずっと，両親や祖父母，友だちや先生，地域の人など多くの人がいてくれるからなのです。つまり，私が私であるためには，『あなた』という存在がいないと成り立たないのです。まずは，『あなた』がいて『私』がいる。だから，『私とあなた』ではなく，『あなたと私』なのです。」とおっしゃいました。

「親と子」を例に挙げ，「親がいて子があるように思いがちですが，『子』が生まれてくれて，初めて私たちは，『親』になります。子ができたことで親にしてもらったのだから，『子と親』だったのです。自分を中心に考えると，自分が相手より上になってしまうから，上から下へ，『なぜわからないの。』『どうしてできないの。』と，言ってしまいがちになるのです。これでは相手を理解することはできません。」とお話しされました。そして，「まずは，相手の存在を丸ごと認めて受け入れることです。」「私たちにとって，子どもという存在は，いてくれるだけでいいのです。存在してくれるだけでいいのです。」ともおっしゃいました。

詩「私と小鳥と鈴と」の「みんなちがって，みんないい」とは，「一人一人が，それぞれに光り輝いている大切な存在だということです。そして，『みんなちがって，みんないい』とは，『あなたはあなたでいい』が最初だということです。『私は私でいい』は後なのです。『私は私でいい』から始めてしまうと，『好き勝手でいい』ことになり，『人をいじめても，相手を傷つけてもいいんだ。』ということになってしまいます。これは，『私とあなた』のまなざしです。自分中心，人間中心のまなざしです。金子みすゞさんのまなざしは，『あなたと私』ですから，『あなたはあなたでいい』が最初です。こんな嬉しい言葉を，大人は自分の行動の正当化や失敗をごまかすために使いがちです。すべての存在が，そのままですばらしいと気付いたときに，『私』中心だったまなざしが，『あなた』に向かっていくのです。ですから，『私と小鳥と鈴と』という題で始まって，それぞれのすばらしさに気付いて，まなざしが変わって，『鈴と，小鳥と，それから私』と，私が最後にくるのです。」とお話しになりました。

印象的だったのは，「かつて，私たちのそばにいてくれる大人は，きちんと『こだま』してくれました。転んで『痛い』と言ったときは『痛いね』と，こだましてくれました。お陰で痛みを半分にすることができました。きちんとこだましてくれる大人がいた時代は，誰の心の中にもある，寂しさや悲しさ，辛さといった器をいっぱいにすることはありませんでした。痛いときに『痛いね』，辛いときに『辛いね』とこだまし，うなずくことが，本当の優しさなのです。」と。矢崎先生のお話しを伺って，また，『金子みすゞ詩集』を手に取ってみたくなりました。矢崎先生のお話は，私たちが忘れかけてしまっている大事なことに，気付かせてくれた気がしてなりません。優しい気持ちになったのは，私だけではないはずです。

9月の行事予定

日	曜	９　月　行　事
1	日	
2	月	中３実力テスト①　人事・学事担当学校訪問 夏休み明けテスト(1･2年)　ｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟﾚｯｽﾝ(SUL)3年
3	火	フッ素洗口　新人体育大会代表者会議
4	水	中学校英語弁論大会
5	木	体育祭係会議
6	金	
7	土	深谷市科学展(常盤小)
8	日	深谷市科学展(常盤小)
9	月	体育祭全体練習　SUL3年
10	火	体育祭予行
11	水	緊急連絡ｻｲﾄｱｸｾｽ日
12	木	
13	金	体育祭準備
14	土	**体育祭（弁当持参）**
15	日	大里地区発明創意くふう展(妻沼中央公民館)　体育祭予備日
16	月	**敬老の日**
17	火	**振替休業日**(体育祭分)
18	水	体育祭予備日
19	木	生徒会の日
20	金	安全点検日
21	土	川本南小運動会
22	日	
23	月	**秋分の日**
24	火	生徒集会（地区大会壮行会）
25	水	新人体育大会陸上地区予選会
26	木	新人体育大会陸上地区予選会（予備日）　SUL1･2年
27	金	スキップシティ見学(4･5･6組)
28	土	SUL3年
29	日	
30	月	学年会議　SUL3年

クラスの仲間と協力し、行事を通じて互いに絆を深めよう

９月に入ると，科学展や発明創意くふう展，体育祭などの行事が控えています。この機会に子どもたちの頑張りをご覧いただければ，幸いです。

自分を伸ばすための学期にしよう！～2学期･始業式～

７月28日，本庄市民文化会館で県吹奏楽コンクールが行われました。吹奏楽部の皆さんが，会場に素敵な演奏を披露してくれました。一人一人しっかりと音を出し，力強い演奏でした。８月15日を過ぎる頃になると，各種大会が行われるようになりました。全国大会や県北大会をはじめ，新人体育大会市予選会のシード権をかけた試合が，深谷市民大会として行われた部もありました。２学期に向け，着々と始動しだしました。そして８月28日，39日間の夏休みを終え，２学期が始まりました。残暑厳しい中でのスタートとなりましたが，皆，とてもよい表情で登校してくれました。

始業式では，学校代表の４名が，２学期の抱負を発表してくれました。「勉強・部活動(運動)・行事」のそれぞれに目標を掲げ，その達成に向け決意を新たにしてくれました。生活面での取組も，引き続き実践していくとのこと。それには，「意識」が大事になります。自分で意識して本気になる。これまでと同じでは，何も変わりませんし，変えることはできません。２学期は，行事の多い学期です。是非とも，自分を伸ばす学期にしていきましょう！

明日の深谷を支え，未来を考える ～ 子ども議会 ～

７月31日，市役所本庁舎３階議場において，「令和元年度子ども議会」が開催されました。小島市長をはじめとする各部長が臨席する中で，奥野隼弥議員，小池柚綺議員として議会に出席した両名は，他に臆することなく，実に堂々としていました。

暑い中，大変お世話になりました！～資源回収･除草～

７月27日は，朝から天候に恵まれ，自治会の皆様，公民館，地域の皆様，保護者の皆様，たくさんの方々のお陰をもちまして，たくさんの貴重な「資源」をいただくことができました。感謝申し上げます。子どもたちのために役立ててまいります。

また，８月10日の早朝，ＰＴＡ本部，保護者，本部ＯＢの方々のご尽力により，除草作業が行われました。早朝とはいえ，暑さの厳しい中での作業でしたので，とても大変でした。草丈が思いの外伸びており，その伸びの速さ，生長の速さに驚かされましたが，皆さんのお陰で，綺麗になりました。有り難うございました。31日は，親子除草作業となっています。保護者の皆様，お世話になります。

富士商会様，飯野美知太郎様より，毎年，本校の教育後援会へ多額の御寄付をいただいております。ここに感謝し，御礼申し上げます。

忠恕の心，真心と思いやりを ～三校人権研修会～

８月20日，川本中学校区の小中学校の先生方が一堂に会して「人権研修会」を行いました。人権教育政策課より菊地正彦専門員を講師にお招きし，講演をしていただきました。学校における人権教育の意義は，「自分の大切さとともに，他人の大切さを認めること」です。偽りや飾りのない私たち一人一人の真心で，相手のことを親身になって考える気持ちが，差別や偏見のない社会をつっていくのです。

家庭の「安心ふっかネット」(深谷市PTA連合会提言)

お子様をネットトラブル等から守るために、ご家庭のご理解とご協力をお願いいたします。